

文字摺通信

第 88 号

2025年 5月15日

発行:文字摺歴史文化社

『福島市街明細図』 この地図ができた のは？

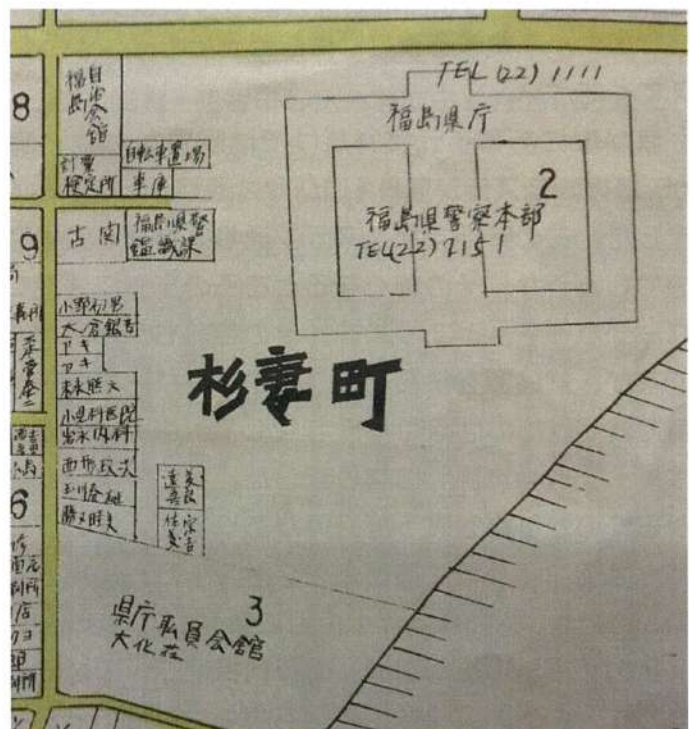
今年の3月、福島市史編纂室で右の大きな地図（78.3cm×109.3cm）を見せてもらいました。左側の福島駅裏から右上の競馬場まで、旧市内の大半を網羅した住宅地図です（店や事務所だけでなく、個人名が載っています）。



地図の左下に奥付がありますが、発行年が書いてありません。では、この地図、いつの福島市を表しているのでしょうか。

まず、目に付くのが、路面電車の線路と北町バイパス（舟場町交差点から岩谷下交差点までの国道4号線）ができています。北町バイパスの開通は昭和41年で、路面電車の廃止が昭和46年4月ですから、大まかにこの地図は昭和41年から46年までの福島市の地図であることがわかります。もう少し、部分、部分を拡大して見ていきましょう。

右は県庁です。まだ西庁舎（S46年11月）はありません。杉妻会館が大仏荘となっています。この改名はいつでしょうか？ご存知の方、ご一報を。



県庁舎のところに電話番号が書いてあります。局番が（22）と二桁になっています。福島市内の局番が二桁になったのは、昭和43年6月9日です。これでこの地図が昭和43年以降であることがわかりました。自治会館が道路を挟んで県庁敷地内にあります。この移転はいつでしょうか。また、もともと西庁舎は旧大島要三邸を買い上げて造ったもので、息子の長十郎さん宅は万世町に移転してます。大島家の引越もヒント

